



ひろびろだより

No.8. 2013 11.1

カッーン、コーン♪と、どんぐりの落ちる音と時折響くアケラの声。そんな森でお互いの言葉にうたふすき、涙し、笑顔になっている10人のお母さんたちがいました。

10月の3連休、"第15回ママチルキャンプ in 軽井沢"がひろびろの森で行われました。ママチルキャンプはひろびろ立ち上げのきっかけにもなったキャンプです。

このキャンプは3つのキーワードを柱にしています。「1. 自然はみんなのお母さん」

「2. わたしと同じあう」「3. 子育てはたくさんの子とたくさんのお母さん」です。

1と2の柱は、森で自然体験プログラムを通して行われます。子どもから離れ、ひととき「母」を忘れ、自然の中で思いきり遊んだり、余りだけの時間を過ごします。子どもと離れるのがキツと、わくわくを味わう体験となりますが、「離れること」によって得られる気付きは、なぜか反対の「つながり」なのです。自然の中で、自分の感覚と向き合うことで「母」「妻」以外の「わたし」を取り戻し、そんな風に「わたし」と向き合えたお母さんは、子どもとのつながり、夫、家族とのつながりに気づいていきます。そしてふりがえりの時には「子どもと一緒にでかけても、迷惑をかけたのか、そればかり気になって...」「疲れていると、子どもの言をうるさいと思ってしまう...」などびの奥にしまっていた想いを泣きながら話していました。それら、森との時間を過ごしたことで、どんぐりの木も、かわいらしいつり花の笑も、子育ての努力(戦略?)をしていることを知り、「こんな大変な自然が必死になら、ち、こい木が育児を必死にするのはあたりまえ!」と自然でいる(自分である)ことの大切さ(今のままでいいんだ!ということ)を感じていたのです。そんな姿は、凛として美しく、木にはちよと羨ましくらいでした。

そして、その大事な時間を支えるのが、世代や立場を越えて保育スタッフの存在です。「育児はお母さん」ではなく、「育児」にいろいろの人が関わりを持つ場をつくること。それがキャンプの3つめの柱です。「母と子」という1対1の関係から、様々な人同士が出会い、話し合いながら育児に関われる「場」でお母さんは普段と違う子どもの姿、自分のありがたさを見つけていきます。そうして子育てをすることは「母も」「子ども」もこんなにはいい世よいか、と気づき、なんだかど人も、きりとした笑顔で我が家へと帰っていくように思います。

ひろびろからは茂木さんが今回参加してくれました。かよさんが森でのプログラムを終え、帰ってきた時後林くんが「かあちゃん、森の中たのしかった?」と聞いてきたそうです。「とっても楽しかったよ。」と答えると「でしよ!」と一言。私もそれを知らず、本当に嬉しくなりました。

ママチルキャンプでお母さんたちが感じたこと、ひろびろの子どもたちも日々、森の中で、仲間たちと一緒に、感じているのではないでしょうか...

菜々恵

おおきいくみだより

散歩コースのひとつに「浅間絶景コース」があります。浅間山の麓にはふと見ると小浅間山。まほうくろくさんは「あそこに登るたよねー」、くりおくろくさんは「あそこに登ったたよねー」と見ている山です。今年はお休みゼロで、おおきいくみ全員で登って来ました。

登山の数日前、不安な気持ちで言葉にしていた(悠)。朝一番に「たふん山に行きたい気分になってきた!」と頼もしい一言。朝の集まりでは、「お父さんがiPhoneで調べるって今日は晴れるって言った」と(朝)がみんなに教えてくれます。みんなの気分も高まってきました。

最初は大がね坂道。森に沢山の音が生まれているのを見て「恐竜いるみたい!」、けもの道をみつけると「11月の道」と大きな声で教えてくれるのは(悠)。スタートから奥平全南で「またかかあ?」と出発して10分もたぬうちに(悠)は、とぼけています。まゆさんの12月からはチューブが出ていて、直接水が飲めるようになっていたのですが、みんなが水を飲んでいないのを見て「まゆさんのおっぱい飲んでみるか?」と(悠)。(悠)には、水を吸うコツがつかめないようで、首を傾げながら何度か挑戦。上手に飲める人達を見て「本番でせよ!」と訴えていました。「わたし、浅間山、2回行った。中国にいたから...」と久々の登山に何度も不安を漏らしていた(悠)。その言葉は裏腹に、時々先頭集団で歩いて足取りはしかりしていました。「まゆさん、渡りたよ」と笑顔で言いながら一歩ずつ頑張る(悠)。最後尾の(悠)(明)(陽)はおしゃべりが楽しくない。立ち止まったり丸くはたり落中です。同じペースで歩いている(悠)は「まゆさん、あついでください!」と何度もお願いしています。(ひいおつ)は「この人たち、じやまかぬ。」と一言(笑)。何度も転ぶけれど全然泣かずに立ち上がりマイペースで歩く(悠)。他の登山客に「何歳?」と声をかけられ「3歳!」と指を3本見せてニコニコでした。(悠)(明)は常に先頭集団。さわやかな表情で弱音も一切なし。誰かが走れば一筋に走り込んで渡りたよ。何人か「渡りたよ...」と言いはじめた頃、「どうもこの辺に『渡りたよ恐竜』がいるよあ。」と(悠)。(まゆ)「(悠)も渡りたよ?」(悠)「いや、渡りたよ恐竜」かいるたよ...」過去2年、いつも最後尾グループにいた(悠)。今年も常に先頭集団でシャキシャキ歩いています。「この靴は歩きやすい。白馬に登ったから全然平気!」と自信を語り、「この人着いたら何倍も楽!」と(悠)。気持ちはすでに頂上です。

いよいよ最後の息が登り。小石だらけ足場も悪く、思わぬところで滑って倒れ込んで登りたよになります。それでも「今年はずっとつかめなから!」と一年間の成長を実感している(悠)。頂上に向けて最後はジャンプするように登る(悠)。そして頂上に着いたと思ったら、12月も背負ったまま下りてくる(悠)。一番最後を歩く(悠)(明)のところまで行き、2人に声をかけあげています。「清里キャンプより大変」と弱者を吐いて(悠)。頂上にあるケルンが崩れているのが気がなり、みんなが集まりまてお話をしてくれました。

9時50分に出発し、11時15分には全員登頂!記念撮影をして、お弁当。(陽)は自分で握ったおにぎりをおいしそうに食べていました。例年より早いペースで到着し、頂上ではおにぎりを食べた。ケルン、おにぎりに、かくいんぼ、さくろんこ、こ...。いつものひろびろの森と同じようにみんな遊んでいます。あついでいう前に下りる時間。「え、もう下りたい!」の声がはびこりました。

砂利の下り道。滑って尻もちをつく人も続出。みんなのペースがかりづらくなり、涙こぼれながらお話を下りた(悠)。その前に(悠)(後)は「上車に転ぶは大丈夫!」とお手本を見せてくれた(悠)と元気かけます。(明)は「転ぶのはいいけど絶対お尻が痛む!」と転んでも大丈夫!たて生徒会長たもん!と何かに力をつけて意気揚々。過去2年連続休調を今年のお休みで今年お初めした(悠)。登りも下りも常にトップグループで足取り軽やか。時々走り出し、何度もストップをかけて待つ。帰り道でも「お、お、全然渡りたよいんぼ!」と余裕でした。

日常的にたくさん歩いているとはいえ、みんな渡りたよも最終的には足取り。秋の小浅間山を満喫した日でした。今度の浅間絶景コースの散歩で、小浅間山をみんなで見ると、たのしみです。

11月11日 11時15分 11時15分

： 博之介

お知らせ

先日 10/24 おおきくみで水害を想定して避難訓練を行いました。あれだけ遊んでいる子ども達が合同と共にと集まり、大人の話をしっかりと聞き、静かに素早く行動する姿はほほやりました。前回とは違い車の移動という新しい事もありました。子ども達も大が自分の事として大切に取り組めるようこれからも積み重ねたいと思います。

・おにぎり・お弁当を薪ストーブで温め始めました。11/11(月)～です。ホイルで包み、ほつりかけるのに記名をお願いします。そのに伴い、建研が不足しています。ご協力いただける方は是非お願いします。

・冬到来も間近と判りました。外に長い時間いるのは想像以上に冷えてきます。トイレに行く回数も増えてきました。着ている物は、暖かいハイソックスや重ね着。そしてお着かえバッグは、寒さ装備をお願いします。

・10/30に脱穀が終わり、いよいよ新米を収穫する時となりました。田舎の方達と一緒に収穫感謝の日を過ごしたいと思います。例年事柄、後日お米を配布いたします。日付は、11/12(火) (予備日は13日です)。

・11/7(木) おおきくみは、レノの森での保育にします。時間、持ち物は通常通りです。大りの保護者の方達には、レノの森をご案内したいと思います。ご希望の方は、9時20分に、駐車場にお集まり下さい。大り以外の方も、前回見込められた方達と一緒にいらして下さい。

・11/4(木)の松本正広講演会のお席に私余裕があります。お知り合いの方達をお誘い下さい。まこと心動かされるお話を聞けると思っています。

・11月のアト日。 18日(月) 28日(木)

・11月のリンニエイス日。 5日(火)

・11月のくまの日。 27日(水)

レノの森を眺めながらのんびり散歩やおしゃべりの時とあります。

・11/25(月) おおきくみは、電車に乗って別所温泉に行きます。別所温泉を出発の時にぜひお降り下さい。

・軽井沢中学校2年生4人が今年も11/7(木) 8(金)にレノの森で職場体験をします。若い達が幼い子ども達を通して自分の生き方を考える時と知るよう、ぜひお対応したいと思います。

・伊那市にあるNPO法人「山の遊歩道 ほうべこ」の保護者の方達が学びの一環としてレノの森に見学に来られます。お日程は定めていませんが11月後半です。

「お父さんの会」のお知らせ

日時 12月1日(日) 9時～9時15分集合 2時解散

場所 レノの森

焚き火を囲んでお料理し、食べ、おしゃべりをしたいと思います。

おたのしみ格好は、いらして下さい。

持ち物。マイ食器(お皿、お皿、お箸...) 水筒、軍手、うす代300円

11/22(金) 23日、ご参加をお知らせ下さい。

保護者会のお知らせ

日時 12月3日(火) 9時20分～

場所 バイブルキャンプ場 マインホール

ご出席を是非お願いします。

・時々保育に入っている「お父さん」が定期的に入っている回数が増える事になります。ご紹介いたします。

こちらは、レノの森にお手伝いをさせて頂いておられる松本正広先生、本藤聖子と申します。結婚を機に幼稚園を退職。しばらく保育の場から離れたのですが、野外保育に興味を持ち、レノの森を知り、見学希望を伺い、自然の中で子どもの成長を促すという観点から、絵本を集中して見ている子ども達、物語の登場人物の年齢が助けて遊んでいる。それ大りの想像力を膨らませ、遊んでいる姿に感動を覚えました。これからレノの森で遊ばせたい時間が増えるので、是非ご参加をお願いします。

田畑にやり

今年は夏の猛暑、干ばつに加えて秋の台風...天候が地球のせいになっているみたい。はせかいたして稲刈りは、一度目の台風で一つが倒れて水に浸かりもう一つも倒れかかり、二度目の台風には天候が耐えてくれたものの、何度もひどく雨にぬれて、茎や葉がカビてきてしまっています。それでも太陽の力はすごい...お米の部分は「この草食してきた」。

お米の脱穀は足踏み脱穀機という昔の農家で使っていた=人力で重く道具を使います。この脱穀機(モミ)すりといって、お米の一箇外取りの籾を外して玄米にする作業が必要なのですが、これがかなりの難しい。昔ながらにビンに入れて籾を棒で突いたり、すり鉢に入れて籾に野球の硬式ボールを二すりついたり...今年も色々試してみます。

お米は口に入らずに時々間がかります。早く新米が食べたいなあ! : 美和子



ひらひらしび Note '鶏肉のチリソース丼'

- ・にんにく・しょうがのみじん切りをゴマ油で炒めて香りを出します。
- ・ニンニクを入れたら鶏もも肉、長ねぎ、玉ねぎ、人参を加え、塩・しょうがの味を付けてからよく炒めます。(この後 お好みで スキナーニ・ピーマンも.)
- ・ニンニク・酒・みりん・しょう糖としょうが少々...を振り入れ、トマトケチャップを加えて熱湯を注いで味を整えます。(エビチリや酢豚のロケをイメージ.)
- ・水溶き片栗粉でとろみをつけてご飯にのせて出来上がり。
- ・お肉は豚にやひき肉なんでもOK。もちろんエビ・イカなど魚介類もおいしい。
- ・野菜も季節によってカブ・大根・白菜やピーマン・トマトなど何でも合います。
- ・季節の変わり目には長ねぎ・にんにく・しょうがをたっぷり使って身体を温めましょうね。

ひらひらの森の小鳥たち (10月カケス)

色づいた森の奥からジャー!ジャー!とにぎやかな声が聞こえてきます。ものまね上手で、頭がいいカケスの声です。カケスは通常用い深く、あまり姿をみることはありませんが、この季節は別! カケスはどんぐりが大好物なのです。のどの奥に3~6個ものどんぐりのみみさらに口はしにひとつくわえて運びます。来たるとき、冬に備えて、数百個近いものどんぐりを土中に埋め、蓄えるのです。しかし、いくら頭の良いカケスといえども、全ての場所を覚えていたわけではないのです。

どんぐりに木から落ちただけでは、にいて乾燥のためにそのまま土へと返っていくのですが、カケスが埋め、そして忘れてくれることにより、芽生えることができるものがあります。

どんぐりにとってカケスは、大切なパートナーなのかもしれません。

